

# G7広島サミット レガシー・プロジェクト「若者たちのピース・キャラバン」 (ドイツ及びイタリアコース) 募集要項

## 1 事業目的

G7広島サミットの成果を受け、広島を中心とした日本の若者を、団として、日本を除くG7各国に派遣し、現地の若者と議論・交流することにより、現地の人々が再度G7広島サミットを想起し、広島への関心を更に高めつつ、核兵器問題をはじめとした幅広い地球規模の課題解決に向けた機運向上を図る。

## 2 募集概要

### (1) 募集期間

令和5年10月2日(月)～令和5年10月20日(金)17時00分 必着

### (2) 募集人数

5名

### (3) 申込方法

下記6のとおり

## 3 事業概要

### (1) 実施主体

へいわ創造機構ひろしま(事務局:広島県地域政策局平和推進プロジェクト・チーム)

### (2) 派遣先

ドイツ(ベルリン)及びイタリア(ミラノ)

### (3) 派遣期間(予定)

令和5年11月29日(水)～令和5年12月7日(木)

### (4) 派遣人数

5名 ※現地へは、事務局職員が引率する。

### (5) 派遣先での活動(今後の調整状況によっては、内容を一部変更する場合があります)

#### ○ 高校訪問

複数の高校を訪問し、日本と現地双方の若者による、核兵器問題をはじめとした地球規模課題に関する取組のディスカッション及びプレゼンテーションを実施

#### ○ 公共施設でのパネル展示等

中央駅等多くの利用者が見込まれる公共施設において、被爆の実相・核兵器問題の解説・G7広島サミットの成果等に関するパネル展示を開催

#### ○ フィールドトリップ

ホロコースト関連施設の視察・関係者との面談の実施

**参考** G7広島サミットで取り上げられた地球規模課題:平和、気候・エネルギー、食糧、保健、開発等

### (6) 使用言語

英語

### (7) 事前勉強会等

下記8及び9を参照

## 4 応募資格

次のいずれにも該当すること。

- (1) 本事業に関わる全ての関係者が有する、国籍、人種、ジェンダー、性的指向、身体的特徴、信仰、政治的信念・思想などの多様性に対して、常に配慮と敬意を有すること。

- (2) 令和6年4月1日時点で、16歳以上19歳以下であること。
- (3) 高等学校など日本の中等教育課程を履修中または修了した人。  
**対象外** 大学等の高等教育課程の留学生。  
 ※広島県出身者または広島県内への通学者を優先します。
- (4) 英語による現地の若者とのディスカッションやプレゼンテーションを行うことができる高い語学力を有すること。  
**参考値** TOEIC:945以上、TOEFL ITP:627以上、TOEFL iBT:108以上、英検:1級
- (5) 派遣期間及び事前勉強会等、すべての行事日程に参加できること。
- (6) 心身ともに健康で、海外での規律ある行動及び団体生活ができること。
- (7) 派遣後、体験や成果を生かして積極的に活動するとともに、SNS等を活用して広く情報発信をすること。
- (8) 未成年者(18歳未満)の場合は保護者の同意、高校生の場合は学校長の推薦が得られること。

## 5 選考方法等

第1次選考(書類審査)及び第2次選考(面接)を実施し、選考する。

- (1) 第1次選考(書類審査)  
 参加申込書及び作文により審査を行う。  
**ア: 参加申込書**  
[こちら](#)より様式をダウンロードし、記入する。  
**イ: 作文**  
[こちら](#)より様式をダウンロードし、次のテーマを必ず盛り込み、日本語で800~1200字以内で具体的に記述する。

<テーマ>

◎タイトルは自由に設定してよい。地球規模課題の内容についても自由に設定してよい。

- ・G7広島サミットの開催やその成果について、どのように考えるか。
- ・核兵器問題をはじめとした幅広い地球規模課題の解決に向けて、若者は何をすべきと考えるか。  
 ※自らが関心を持つ問題・課題について(複数可)、自身の取組・経験等を交えて述べること。
- ・帰国後、今回の成果をどのように発信し、今後の自らの活動にどのように生かそうと考えるか。

- (2) 第2次選考(面接)  
 面接は日本語及び英語で行う。  
 実施日: 令和5年10月31日(火)夕方 または 令和5年11月1日(水)夕方  
 場 所: オンライン
- (3) 選考結果の通知  
 第1次選考の結果及び第2次選考の日時等は令和5年10月27日(金)までに、第2次選考の結果は令和5年11月2日(木)までに、それぞれメールで通知する。  
 ※学校で取りまとめて申し込んだ場合は、学校宛てに通知する。  
 なお、選考結果の理由に関するお問合せには、一切お答えできません。
- (4) 選考の主な観点
  - ・本事業の趣旨・目的を十分に理解し、派遣先で積極的な交流・意見交換・情報発信ができるか。
  - ・現地情報の収集等、現地での活動が充実したものになるよう、自ら準備に努めることができるか。
  - ・派遣後、体験や成果を自ら発信し、積極的にその成果を生かした活動ができるか。

## 6 申込方法等

### (1) 申込方法・期限

- ・下記(2)の申込書類を、令和5年10月20日(金)17時00分必着で、下記11の提出先へメールにより提出すること。
- ・応募者自身による直接の申込の他、各学校での応募者の取りまとめ・一括申込も可。
- ※学校での取りまとめ・一括申込の場合は、合否発表等の連絡は学校宛てに行う。

### (2) 申込書類

- ・**様式1** 参加申込書  
※PDF形式でスキャンデータを提出すること。(写真撮影したデータでの提出は認めない。)
- ・**様式2** 作文用紙  
※word形式で提出すること。

## 7 参加経費

広島空港または羽田空港※(参加者が選択)から現地までの往復旅費、現地宿泊費・旅費、旅行保険料、出入国手続き費用については、へいわ創造機構ひろしまが負担する。

以下の経費は、参加者の負担とする。

- (1) 旅券(パスポート)取得費用
- (2) 自宅から集合場所(広島空港または羽田空港※(参加者が選択))までの往復交通費
- (3) 滞在中の医療費及び土産や通信費等の私的な費用
- (4) その他、公式日程に含まれない活動に係る費用 など
- (5) 派遣決定後に派遣者の個人的な理由によりキャンセルした場合の航空券等のキャンセル費用
- (6) 事前勉強会及び帰国報告会への参加にかかる費用

※成田空港の可能性有

## 8 事前勉強会及び帰国報告会

以下のとおり実施予定である。時間や場所などの詳細については、第2次選考後に通知する。

### (1) 事前勉強会

内 容：事業概要、訪問先の情報等  
開催日：令和5年11月(回数未定)  
場 所：広島市内またはオンライン(調整中)

### (2) 帰国報告会

開催日：令和6年1月(予定)  
場 所：広島市内

## 9 帰国報告書

参加者は帰国後1か月以内に、本派遣事業に参加した感想文(縦A4版横書き1枚程度、関連する写真1~2枚を含む)を作成し、へいわ創造機構ひろしまに提出する。提出された報告書は、HP等に掲載する。

## 10 その他

- (1) 活動中の写真・動画や氏名・所属等は、現地受入先及び広島県、へいわ創造機構ひろしまの広報資料等に掲載及びマスコミ等から報道される場合がある。また、その他に実施主体が適当と判断した場合は、掲載される場合がある。
- (2) 応募書類は、参加者の選考のために利用されるほか、事業の実施のために利用される。このため、連絡先等の情報は、他の参加者及び事業関係者に提供されることがある。

## 11 提出先・問合せ先

へいわ創造機構ひろしま事務局（広島県地域政策局平和推進プロジェクト・チーム内）

Tel: 082-513-2366 Fax: 082-228-1614

Email: [chiheiwa@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:chiheiwa@pref.hiroshima.lg.jp)

住所: 〒730-8511 広島市中区基町 10-52（広島県庁南館 2 階）